

経 営 状 況 報 告 書

令和5年7月

(公財) 高松観光コンベンション・ビューロー

目 次

令和5年度公益財団法人高松観光コンベンション・ビューローの経営について

- I 令和5年度公益財団法人高松観光コンベンション・ビューロー事業計画書 . . . 1
- II 令和5年度公益財団法人高松観光コンベンション・ビューロー予算書 10

令和4年度公益財団法人高松観光コンベンション・ビューローの事業報告及び決算について

- I 令和4年度公益財団法人高松観光コンベンション・ビューロー事業報告書 . . 17
- II 令和4年度公益財団法人高松観光コンベンション・ビューロー決算書 29

※ この冊子は、再生紙を使用しています。

令和5年度

公益財団法人高松観光コンベンション・ビューローの経営について

I 令和5年度公益財団法人高松観光コンベンション・ビューロー事業計画書

令和5年4月 1日から

令和6年3月31日まで

1 事業運営方針

公益財団法人高松観光コンベンション・ビューローは、観光客及びコンベンションの誘致、サンポート高松のにぎわい創出を中心に活動を行い、高松市及び香川県の経済活性化はもとより、国際会議観光都市・高松のイメージアップ、国際的知名度及び情報発信機能の向上に取り組んでいる。

コンベンション部門では、ポストコロナを見据えたMICEの安全な再開と更なる競争力強化に向け、主要都市の学会本部や大学等に対しての誘致セールスや、ネットワークを活用した情報発信、オンラインによる誘致活動を積極的に展開するとともに、新たにMICEにおけるSDGs・サステナビリティの視点を取り入れることでブランド力の強化を目指す。また、サンポートホール高松の大規模改修や香川県立アリーナの開設後を見据えた誘致事業の取組等、香川県MICE誘致推進協議会や関係団体と緊密に連携し、MICEビジネスの振興に取り組んでいく。

観光部門では、新型コロナウイルス感染症の影響が持ち直しつつある中、国内旅行においては、観光コンテンツの拡充やこれまで高松を訪れていなかった修学旅行客など、新たな需要に対応した取組を引き続き進め、訪日外国人旅行者の誘致においては、2025年大阪・関西万博に向け、伝統ある豊かな文化、歴史、食などの魅力を発信するとともに、県、市及び賛助会員と緊密に連携し、「安全・安心な旅」を提供できる受入環境の整備を図るなど、これまで以上に他地域との差別化を図ることで、観光客の誘客に取り組む。また、都市交流事業等各種観光振興事業を引き続き推進するとともに、サンポート高松を拠点とした、にぎわい創出事業に、県、市及び関係者と連携して取り組んでいく。

このような方針のもと、引き続き、21世紀の基幹産業とも言われる観光・コンベンション事業を積極的に推進するため、次の事業を実施する。

(1) 国際会議等の誘致及び支援などコンベンションを推進する事業

国際会議等の誘致の促進及び開催の円滑化等による国際観光の振興に関する法律に基づき、高松市は、国際会議観光都市に認定されていることから、本法律の目的を達するための国際会議等の推進を始め、全国大会等の誘致、支援等を通じ、地域経済の活性化及び文化の向上に寄与するコンベンションを推進する事業を実施する。

(2) コンベンション開催支援補助金交付事業

国際会議、全国大会等の誘致及び誘致支援を促進するため、開催支援補助金を交付する事業を実施する。

(3) 観光客等の誘致及び受入れなど観光を振興する事業

観光は、地域経済の活性化、雇用の機会の増大等、地域経済のあらゆる領域にわたり、その発展に寄与するとともに、健康の増進、潤いのある豊かな生活環境の創造等を通じて市民生活の安定向上に貢献するものであることに加え、国内外の相互理解を増進するものであることから、高松市及び香川県の有する文化的、社会的、経済的特性をいかし、観光客の誘致や受入れを通じ、地域経済の活性化や国際相互理解の増進など、観光の振興に寄与する事業

を実施する。

(4) 新たな観光資源開発のための旅行業法に基づく旅行業

高松市及び隣接自治体（岡山県玉野市を除く。以下「高松市等」という。）の新たな観光資源を掘り起こし、高松市等の新たな魅力の創造を図るため、これらを活用した企画開発、並びに利用者による情報発信を促す。

(5) サンポート高松のにぎわいを創出する事業

サンポート高松に、人、物、情報等を集めることにより、にぎわいを創出し、国際交流、情報化の推進及び産業の振興並びに都市機能の活性化を図る事業を実施する。

(6) 高松市及び香川県への旅行者の利便の増進並びに観光資源開発のための観光案内所の運営・管理の受託

高松市に来訪する旅行者に対し、観光案内その他旅行に関する情報提供等を行い、旅行者の利便の増進に資することを目的として設置された同施設について、旅行者が快適に高松市及び香川県の滞在を行えるよう情報提供を行うことは、当財団の公益目的事業の一環であるとともに、これに積極的に務めることで、高松市及び香川県のイメージアップにつながり、また、国籍や目的地の調査など新たな観光資源の開発に役立つことから、(公社)香川県観光協会からこれを受託し、管理運営する事業を実施する。

(7) その他この法人の目的を達成するために必要な事業

2 具体的な事業計画内容

(1) 国際会議等の誘致及び支援などコンベンションを推進する事業

ア コンベンション誘致事業

全国53か所の国際会議観光都市が認定され、世界はもとより、日本国内においても、国際会議等の誘致における都市間競争が激化している。このような状況の下、地域経済の発展のため積極的に誘致活動を展開する。

(ア) コンベンション主催団体等に対する誘致訪問

a 首都圏等主催事務局

(a) 開催情報収集及び開催支援情報発信のための活動

首都圏を中心とした主要地区（首都圏・関西等）の学術会議・大会本部・主要大学・旅行会社・企業等の主催事務局に対し誘致活動を行う。

(b) 有力主催者等へのトップセールス

開催決定が有力視される主催者への県・市・当財団理事クラスの訪問

b 四国内の大学

(a) 開催情報収集及び開催支援情報発信のための訪問

四国内の大学の主催者に、高松市で開催を検討いけだけのよう情報を発信し、開催件数の増加を図る。

訪問地：徳島・高知・愛媛の各大学

(イ) 地元主催者等に対する誘致訪問

訪問先：県内大学・学術会議・大会・組織団体・協会等の支部事務局

(ウ) 共同誘致事業

a 地方都市コンベンション関連団体ワークショップ及び合同誘致事業

（新潟・郡山・松本・岐阜・びわこ・和歌山・高松）

b I M E（国際M I C Eエキスポ）への出展

- c 連携都市情報交換会（盛岡・金沢・静岡・高松）
- d 中国四国コンベンション誘致推進協議会
- e 四国地区観光コンベンション推進団体情報交換会
- f J N T O 台湾 インセンティブセミナー
- g J N T O シンガポール M I C E セミナー
- h 香川県 M I C E 誘致推進協議会との連携

イ コンベンション誘致支援事業

高松市及び香川県でコンベンションの開催の意向がある団体等に対し、誘致手法に関する相談を始め、開催計画の提案や視察の受入れ、国際会議・企業コンベンション誘致支援事業等を行うことで、高松市及び香川県での開催を促す。

- （ア）主催者等招請事業及び視察受入れ
- （イ）開催企画書のテンプレート提供
- （ウ）国際会議・企業コンベンション誘致支援事業

ウ コンベンション開催支援事業

高松市及び香川県で開催予定のコンベンション主催者に対し、コンベンション・コンシェルジュとして、各施設の会場手配、開催までのノウハウの提供、コンベンション運営スタッフの紹介（無料職業紹介事業）等を行い、主催者の開催を補助するとともに、参加者に対して、各種観光パンフレットなどの情報提供並びに利便性の向上を図る。また、ポストコロナ時代に対応するための助成金事業を継続する。

- （ア）コンベンション・コンシェルジュとして主催者支援
 - a 会場予約・施設利用調整等
 - b 行政など関係機関との調整（後援、メッセージ等）
 - c ユニークベニュー、アフターコンベンション等の提案
- （イ）コンベンション運営スタッフ紹介事業（無料職業紹介事業）
- （ウ）観光パンフレットの提供等各種参加者支援
- （エ）大型コンベンション開催に伴う各施設との連携強化
- （オ）ハイブリッド会議開催支援助成金

エ 広報宣伝事業

インターネットを活用した情報発信や専門誌等に対する広告及び、大会参加者向けの誘客プロモーション映像を活用することで、高松市及び香川県のコンベンション施設や支援制度を紹介し、コンベンションの開催及び参加率向上を促す。

- （ア）団体、賛助会員に対する啓発・周知
- （イ）専門誌等への広告
- （ウ）ホームページによる情報発信
- （エ）参加者向け観光情報発信事業

オ コンベンション情報収集提供事業

誘致事業等により得られたデータを整理し、コンベンション開催予定表を作成し、広く一般に周知する。また、自らが、主催者や参加者にアンケート調査を行い、コンベンションがもたらす経済波及効果を試算し、公表する。くわえて、これまで蓄積した主催者情報及び大会情報データベースの活用など、コンベンション誘致活動をより一層効率的に実施できるよう努める。

- （ア）開催情報のデータ整備

- (イ) 統計書作成・経済波及効果・アンケート調査の実施
- (ウ) コンベンションカレンダーの作成と提供
- (エ) 日本コンGRESS・コンベンション・ビューロー（JCCB）ビューロー部会への参加
- (オ) 主催者情報・大会情報データベースの整備
- (カ) MICE視点でのサステナビリティ度の可視化に向けた検討
- (キ) ブランドタグラインとロゴを活用したMICE誘致の取組

(2) コンベンション開催支援補助金交付事業

ア 国際会議等

国際会議等とは、学術、文化、技術等の向上発展を図ることを目的とする団体が主体となって開催する学術、文化、技術等の研究の発表若しくは討論のための国際的な会議、スポーツ大会又はこれらに準ずるものをいう。

(ア) 補助要件

補助対象は、次に掲げる項目のすべてを満たすものとする。

- ・対象地域 高松市又は近隣町（三木町、直島町及び綾川町の3町をいう。以下この号において同じ。）で開催されるもの
- ・県外参加者の延べ宿泊数（高松市又は近隣町に宿泊）が50泊以上あるもの
- ・全参加者のうち外国人参加者（海外から参加する外国人）の占める割合が20%以上のもの
- ・プログラム、抄録集等に当財団の補助事業であることを明記するもの
- ・主催者アンケート（1枚）、参加者アンケート（10枚）を提出するもの

(イ) 補助金額

補助金額は、次に掲げる項目の合算額とする。なお、補助金額は理事長が認める事業費の25%以内の額とする。

a 宿泊助成額

- ・県外参加者の延べ宿泊数×2,000円
- ・延べ宿泊数は、高松市又は近隣町にある賛助会員宿泊施設の宿泊数とする。
- ・開催期間中及び前後泊を対象とする。
- ・最高限度額 500万円

b エクスカーション助成金

- ・大会等の主催者が計画し、実施する視察旅行で、高松市内の観光施設等を2か所以上訪問するもの
- ・賃借した台（隻）数に3万円を乗じた額又は賃借料の2分の1の額のどちらか低い方
- ・千円未満切捨て
- ・最高限度額 30万円

イ 国内大会・国内学会等

国内大会等とは、会議、集会、セミナー等をいう。また、国内学会とは学者により構成され、学術研究の向上発展を図ることを目的とする団体が主体となって開催する学術研究の発表若しくは討論のための会議、集会、セミナー又はこれに準ずるものをいう。

(ア) 補助要件

補助対象は、次に掲げる項目のすべてを満たすものとする。

- ・対象地域 高松市又は近隣町で開催されるもの
- ・県外参加者の延べ宿泊数（高松市又は近隣町に宿泊）が100泊以上あるもの
- ・香川県を含む3県以上から参加があるもの
- ・プログラム、抄録集等に当財団の補助事業であることを明記するもの
- ・主催者アンケート（1枚）、参加者アンケート（10枚）を提出するもの

(イ) 補助金額

補助金額は、次に掲げる項目の合算額とする。なお、補助金額は理事長が認める事業費の25%以内の額とする。

a 運営費助成額

- ・20万円。ただし、賛助会員の開催関係事業者のうち、3業種以上を利用したものに限る。

b 宿泊助成額

- ・県外参加者の延べ宿泊数×500円
- ・延べ宿泊数は、高松市又は近隣町にある賛助会員宿泊施設の宿泊数とする。
- ・開催期間中及び前後泊を対象とする。
- ・千円未満切捨て
- ・全国規模 香川県を含む30都道府県以上からの参加又は県外参加者の延べ宿泊数が1,000泊以上あるもの
- ・その他規模 香川県を含む3県以上から参加があるもの
- ・最高限度額 全国規模180万円、その他規模80万円

c エクスカージョン助成金

- ・ア（イ）bに同じ

ウ スポーツ大会

スポーツ大会とは、その大会が行う競技の振興及び発展を目的とする競技団体又はその下部組織が主催、共催、後援等を行う大会をいう。

(ア) 補助要件

補助対象は、次に掲げる項目のすべてを満たすものとする。

- ・イ（ア）に同じ。ただし、対象地域は除く。
- ・対象地域 香川県内で開催されるもの

(イ) 補助金額

補助金額は、次に掲げる項目の合算額とする。なお、補助金額は理事長が認める事業費の25%以内の額とする。

a 運営費助成額

- ・イ（イ）aに同じ

b 宿泊助成額

- ・イ（イ）bに同じ。ただし、最高限度額は除く。
- ・最高限度額 全国規模80万円、その他規模30万円

c エクスカージョン助成金

- ・ア（イ）bに同じ

エ 合宿等

合宿等とは、各種競技団体、学校などが技術向上や交流等を目的に開催するスポーツや文化活動等、営利を目的としないものをいう。

(ア) 補助要件

補助対象は、次に掲げる項目のすべてを満たすものとする。

- ・対象地域 香川県内で開催されるもの
- ・県外参加者の延べ宿泊数（高松市又は近隣町に宿泊）が100泊以上あるもの
- ・主催者アンケート（1枚）、参加者アンケート（10枚）を提出するもの

(イ) 補助金額

補助金額は、次に掲げる額とする。

a 宿泊助成額

- ・県外参加者の延べ宿泊数×300円
- ・延べ宿泊数は、高松市又は近隣町にある賛助会員宿泊施設の宿泊数とする。
- ・開催期間中及び前後泊を対象とする。
- ・千円未満切捨て
- ・最高限度額 50万円

オ ア～エの補助要件等にかかわらず、次のいずれかに該当するものについては、補助金を交付しない。

- ・国又は地方公共団体が主催又は共催（名義共催は除く。）するもの
- ・高松市から補助金が交付されるもの
- ・宗教及び政治的活動を目的とするもの
- ・不特定多数の参加者から入場料を徴収するもの
- ・その他、理事長が不適當と認めるもの

(3) 観光客等の誘致及び受入れなど観光を振興する事業

ア 観光客等誘致及び受入事業

県外及び国外に対し、オンラインによる高松市の観光資源等の情報発信や商談会等を実施するとともに、対面型の誘致活動を再開する。県外に対しては、各種観光キャンペーンへの参画、姉妹都市・交流都市との都市交流事業等の実施、国内観光旅行や教育旅行の誘致活動を実施する。国外に対しても、視察受入れや情報発信の強化など、香川県や高松市を始め、他の地域や団体とも連携し、訪日外国人旅行者の誘客に取り組む。これら活動の効果を高めるため、国内外の旅行会社に対し、送客実績に応じた団体旅行助成金を交付することに加え、引き続き修学旅行に特化した助成金を交付する。

(ア) 国内観光客誘致事業

- a 観光キャンペーン事業への出展
- b 都市交流事業（彦根市（姉妹城都市）・水戸市（親善都市）等）
- c 四国観光商談会（東京・大阪）

(イ) 訪日外国人旅行者誘致事業

- a 旅行社及びメディア等招請事業（東四国アジア広域周遊戦略事業）
- b 連携団体協同フォローアップ誘致訪問事業（地方連携事業）
- c 訪日視察・取材受入れ事業
- d 訪日外国人旅行者誘致推進事業（観光商談会、情報発信等）

(ウ) 団体旅行誘致事業助成金

高松市内及び三木町内の宿泊施設にそれぞれ1泊以上の宿泊を伴う旅行の募集型・受注型団体旅行商品（以下「団体旅行」という。）に対し、観光客の誘致拡大を目的に助成要件を満たす団体旅行に助成金を交付する。

(エ) 修学旅行誘致事業助成金

高松市内及び三木町内の宿泊施設にそれぞれ1泊以上の宿泊を伴う修学旅行の取扱い（以下「修学旅行」という。）に対し、観光客の誘致拡大を目的に助成要件を満たす修学旅行に助成金を交付する。

イ 観光イベント等振興事業

各種観光パンフレットの作成及び配布を始め、さぬき高松まつり等の地元観光イベントに参画することにより観光客の受入れ体制の充実を図るとともに、電動アシスト自転車の主要観光地への整備や手荷物の一時預かり等を行い、観光客の利便性の向上を図る。また、瀬戸内海を観光資源として捉え、魅力ある瀬戸内海クルーズを実施する民間事業者を支援することにより、瀬戸内海に面した優位性をいかした観光振興を図る。

(ア) 観光パンフレット等作成

(イ) さぬき高松まつり

(ウ) 屋島山上初日来迎式

(エ) 観光レンタサイクル（電動）事業（仏生山、塩江、八栗）

(オ) 手ぶら観光推進事業

(カ) 瀬戸内海サンセットクルーズ事業の支援

ウ 広報宣伝事業

高松市出身又は一定期間、居住及び活動した者で、観光振興に寄与することが期待される者を高松市観光大使として委嘱し、高松市の魅力をPRする事業のサポート、各種観光行事及び公的諸行事において観光宣伝を行う高松ゆめ大使・高松特別ゆめ大使事業、観光名刺の販売事業等各種事業を通じて、高松市の知名度アップやイメージアップを図る。

(ア) 高松市観光大使事業

(イ) 高松ゆめ大使・高松特別ゆめ大使事業

(ウ) 観光名刺販売事業

エ 調査企画事業

高松市の観光振興を図るため、高松市単独ではなく、近隣市町との連携が必要不可欠であることから、近隣市町の関係機関と連携した協議会に参画し、共同事業等の実施に向けた検討を行う。

(ア) 四国地区観光コンベンション推進団体情報交換会

(4) 新たな観光資源開発のための旅行業法に基づく旅行業

ア 着地型（募集型企画）旅行商品の造成・販売

地域経済の活性化に寄与するため、第3種旅行業の資格を活用し、着地型旅行（ぷち旅プラン）の企画及び実施を行う。また、身近な観光資源の掘り起こしや体験プログラムの開発に取り組むとともに、モデルコースの充実を図り、高松市民や香川県民といった「近場へ行く」個人客の誘客や他県からの団体旅行造成の促進に努める。

(5) サンポート高松のにぎわいを創出する事業

ア サンポートのにぎわい創出事業

サンポート高松において、イベントを実施したい団体・企業等に対し、イベント等に関する相談や実施に向けた協力、トラブルになりやすい警備や交通関係のアドバイスを行うとともに、イベントを公募するなど、イベント件数や来場者の増加に寄与することで、サンポート高松のにぎわいを創出する。

(ア) サンポート高松イベント大募集！

(イ) 団体等主催のイベント募集及び共催等開催支援事業

イ 広報宣伝事業

ホームページ等によりサンポート高松のイメージアップや知名度向上を行う。

(ア) ホームページ等を活用した情報提供事業

(イ) サンポート高松を中心とした広告宣伝事業

ウ 調査企画事業

イベント等参加者に対する来場者アンケートの実施等サンポート高松のにぎわい創出に必要な問題点の検討等を行う。

(6) 観光案内所（香川・高松ツーリストインフォメーション）の運営・管理の受託

（公社）香川県観光協会から本案内所の運営業務を受託し、高松市及び香川県内を主とした観光案内を行うほか、宿泊案内、周辺地域及び全国の観光案内、交通機関等の各種案内に関する情報を提供することにより、本県を訪れる観光客等の利便性の向上を図り、さらなる満足度を高めるとともに、観光客のニーズを的確に把握し、観光資源開発に活用する。

また、観光圏整備法第10条に基づく認定観光圏案内所への登録や、J N T O認定外国人観光案内所 カテゴリー3（常時英語による対応が可能。その上で、英語を除く2以上の言語での案内が常時可能な体制がある。全国レベルの観光案内を提供。原則年中無休。Wi - f iあり。ゲートウェイや外国人来訪者の多い立地。）に登録されたことから、日本語のほか、3か国語に対応できるよう従事者を配置し、訪日外国人旅行者への対応を行う。

- ・場所 JR高松駅内
- ・運営日 毎日（年中無休）
- ・開所時間 9：00～20：00
- ・対応言語 日本語・英語・中国語・韓国語

(7) その他この法人の目的を達成するために必要な事業

ア 各種会議の開催

(ア) 評議員会

(イ) 理事会

(ウ) その他、評議員・役員に関すること

イ 賛助会員

(ア) 賛助会員総会の開催

(イ) 賛助会員賀詞交歓会の開催

(ウ) 賛助会員名簿等の整備

(エ) 賛助会員加入促進

(オ) その他賛助会員に関すること

ウ その他財団の必要なこと

- (ア) 経理業務
- (イ) 処務業務
- (ウ) 事務所維持管理
- (エ) インターネットを活用した広報及び情報提供
- (オ) 職員研修の実施
- (カ) 機関紙の発行
- (キ) その他

Ⅱ 令和５年度公益財団法人高松観光コンベンション・ビューロー予算書

１ 収 支 予 算 書

(令和５年４月１日から令和６年３月３１日まで)

(単位：千円)

科 目	当年度予算	前年度当初予算	増 減	備 考
I 事業活動収支の部				
1. 事業活動収入				
(1) 基本財産運用収入				
基本財産利息収入	4,090	4,090	0	
(2) 会費収入				
賛助会員会費収入	6,600	6,600	0	
(3) 事業収入				
広告等収入	378	378	0	
使用料収入	150	150	0	
参加料収入	600	600	0	
旅行商品販売収入	586	586	0	
物品等販売収入	1,135	1,135	0	
(4) 補助金等収入				
香川県補助金収入	9,570	9,370	200	
高松市補助金収入	86,906	88,320	△1,414	
開催支援補助金事業収入	10,000	10,000	0	
(5) 受託事業収入				
受託事業収入	18,300	18,079	221	
(6) 特定資産運用収入				
退職給付引当金運用収入	5	5	0	
(7) 雑収入				
雑収入	6	6	0	
事業活動収入計	138,326	139,319	△993	
2. 事業活動支出				
(1) 事業費				
コンベンション推進事業費	14,203	14,038	165	
開催支援補助金事業費	10,000	10,000	0	
観光客誘致事業費	12,509	13,919	△1,410	
観光振興事業費	5,641	5,608	33	
旅行業事業費	1,233	1,350	△117	
にぎわい創出事業費	3,252	3,148	104	
観光施設管理運営事業費	18,300	18,079	221	
人件費	34,734	34,425	309	
(2) 管理費				
役員報酬	5,169	4,856	313	
人件費	15,604	16,278	△674	
法人管理運営費	17,681	17,618	63	
事業活動支出計	138,326	139,319	△993	
事業活動収支差額	0	0	0	

(単位：千円)

科 目	当年度予算	前年度当初予算	増 減	備 考
Ⅱ 投資活動収支の部				
1. 投資活動収入				
(1) 退職給付引当預金積立収入	688	917	△229	
(2) 基本財産取崩収入	0	15,000	△15,000	
(3) 特定資産取崩収入				
退職給付資産取崩収入	0	17,929	△17,929	
投資活動収入計	688	33,846	△33,158	
2. 投資活動支出				
(1) 基本財産取得支出	0	15,000	△15,000	
(2) 職員退職給付支出	0	17,929	△17,929	
投資活動支出計	0	32,929	△32,929	
投資活動収支差額	688	917	△229	
Ⅲ 財務活動の部				
1. 財務活動収入				
(1) 借入金収入				
短期借入金収入	4,000	4,000	0	
財務活動収入計	4,000	4,000	0	
2. 財務活動支出				
(1) 借入金返済支出				
短期借入金返済支出	4,000	4,000	0	
(2) 退職給付引当金組戻支出	688	917	△229	
財務活動支出計	4,688	4,917	△229	
財務活動収支差額	△688	△917	229	
Ⅳ 予備費支出	0	0	0	
当期収支差額	0	0	0	
前期繰越収支差額	0	0	0	
次期繰越収支差額	0	0	0	

２ 正 味 財 産 増 減 予 算 書

(令和５年４月１日から令和６年３月３１日まで)

(単位：千円)

科 目	当年度予算	前年度当初予算	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益			
基本財産受取利息	4,580	4,580	0
特定資産運用益			
退職給付引当金運用益	5	5	0
受取会費			
受取賛助会員会費	6,600	6,600	0
事業収入			
広告料収入	378	378	0
使用料収入	150	150	0
参加料収入	600	600	0
旅行業販売収入	586	586	0
物品販売収入	1,135	1,135	0
受取補助金等			
受取香川県補助金	9,570	9,370	200
受取高松市補助金	86,906	88,320	△1,414
受取開催支援事業補助金	10,000	10,000	0
受託事業収入			
観光施設管理運営事業収入	18,300	18,079	221
雑収入			
雑収入	6	6	0
経常収益計	138,816	139,809	△993
(2) 経常費用			
事業費			
給料手当	30,630	34,224	△3,594
臨時雇賃金等	8,483	5,281	3,202
福利厚生費	5,164	5,689	△525
会議費	149	347	△198
旅費交通費	4,315	4,750	△435
報酬	535	535	0
報償費	1,196	1,196	0
通信運搬費	279	147	132
消耗品費	951	943	8
印刷製本費	4,273	5,503	△1,230
賃借料	478	555	△77
支払負担金	16,878	17,070	△192
支払補助金	13,775	13,775	0
広告宣伝費	1,059	1,105	△46
委託料	6,355	5,473	882
仕入費	1,767	1,767	0
修繕費	44	44	0
保険料	11	11	0
租税公課	1,122	1,108	14
諸会費	350	350	0
新聞図書費	158	158	0
支払手数料	121	222	△101
退職給付費用	107	209	△102

(単位：千円)

科 目	当年度予算	前年度当初予算	増 減
雑費	105	105	0
減価償却費	3,173	1,795	1,378
賞与引当金繰入	1,593	1,305	288
管理費			
役員報酬	5,169	4,856	313
給料手当	9,649	10,243	△594
臨時雇賃金等	2,022	2,779	△757
福利厚生費	2,618	2,548	70
会議費	1,068	1,068	0
報酬	23	23	0
通信運搬費	1,640	1,686	△46
消耗品費	749	797	△48
印刷製本費	458	530	△72
賃借料	10,771	10,531	240
諸会費	738	749	△11
支払負担金	79	50	29
委託料	392	392	0
光熱水費	1,200	1,200	0
燃料費	100	100	0
保険料	205	275	△70
租税公課	40	40	0
退職給付費用	581	708	△127
新聞図書費	101	101	0
支払手数料	117	76	41
減価償却費	182	141	41
賞与引当金繰入	737	748	△11
経常費用計	141,710	143,308	△1,598
評価損益等調整前当期経常増減額	△2,894	△3,499	605
投資有価証券評価損益等	0	0	0
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	△2,894	△3,499	605
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益	0	0	0
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常費用			
経常外費用	0	0	0
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
他会計振替額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	△2,894	△3,499	605
一般正味財産期首残高	11,624	12,874	△1,250
一般正味財産期末残高	8,730	9,375	△645
II 指定正味財産増減の部			
基本財産運用損益	490	490	0
一般正味財産への振替額	△490	△490	0
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	542,906	542,906	0
指定正味財産期末残高	542,906	542,906	0
III 正味財産期末残高	551,636	552,281	△645

3 正味財産増減予算書(内訳表)

(令和5年4月1日から令和6年3月31日まで)

(単位：千円)

科目	公益目的事業会計							法人会計	合計
	公1 コンベンション	公2 開催支援補助	公3 観光客誘致等	公4 旅 行 業	公5 にぎわい創出	公6 観光案内所	共通		
I 一般正味財産増減の部									
1. 経常増減の部									
(1) 経常収益									
基本財産運用益									
基本財産受取利息	2,101		1,876				603		4,580
特定資産運用益									
退職給付引当金運用益								5	5
受取会費									
受取賛助会員会費	2,200		2,200				2,200		6,600
事業収入									
広告料収入	81							297	378
使用料収入			150						150
参加料収入								600	600
旅行業販売収入				586					586
物品販売収入	590		545						1,135
受取補助金等									
受取香川県補助金	3,904				1,578		4,088		9,570
受取高松市補助金	5,697		13,475	647	1,674		27,867	37,546	86,906
受取開催支援事業補助金		10,000							10,000
受託事業収入									
観光施設管理運営事業収入						18,300			18,300
雑収入									
雑収入								6	6
経常収益計	14,573	10,000	18,246	1,233	3,252	18,300	34,758	38,454	138,816
(2) 経常費用									
事業費									
給料手当						2,814	27,816		30,630
臨時雇賃金等						7,790	693		8,483
福利厚生費						613	4,551		5,164
会議費	42		106	1					149
旅費交通費	2,726		1,444		23	122			4,315
報酬	35		426		74				535
報償費			1,196						1,196
通信運搬費	163					116			279
消耗品費	693					258			951
印刷製本費	2,786		950		537				4,273
賃借料	178		295		5				478
支払負担金	5,484		8,994		2,400				16,878
支払補助金	150	10,000	3,575		50				13,775
広告宣伝費	739		269		51				1,059
委託料	109		56	726	91	5,373			6,355
仕入費	594		689	484					1,767
修繕費						44			44
保険料				11					11
租税公課						1,122			1,122
諸会費	300		50						350
新聞図書費	110					48			158
支払手数料	10		100	11					121
退職給付費用							107		107
雑費	84				21				105
減価償却費	2,750			275	148				3,173
賞与引当金繰入							1,593		1,593

(単位：千円)

科目	公益目的事業会計							法人会計	合計
	公1 コンベンション	公2 開催支援補助	公3 観光客誘致等	公4 旅行業	公5 にぎわい創出	公6 観光案内所	共通		
管理費									
役員報酬								5,169	5,169
給料手当								9,649	9,649
臨時雇賃金等								2,022	2,022
福利厚生費								2,618	2,618
会議費								1,068	1,068
報酬								23	23
通信運搬費								1,640	1,640
消耗品費								749	749
印刷製本費								458	458
賃借料								10,771	10,771
諸会費								738	738
支払負担金								79	79
委託料								392	392
光熱水費								1,200	1,200
燃料費								100	100
保険料								205	205
租税公課								40	40
退職給付費用								581	581
新聞図書費								101	101
支払手数料								117	117
減価償却費								182	182
賞与引当金繰入								737	737
経常費用計	16,953	10,000	18,150	1,508	3,400	18,300	34,760	38,639	141,710
評価損益等調整前当期経常増減額	△2,380	0	96	△275	△148	0	△2	△185	△2,894
投資有価証券評価損益等									0
評価損益等計	0	0	0	0	0	0	0	0	0
当期経常増減額	△2,380	0	96	△275	△148	0	△2	△185	△2,894
2. 経常外増減の部									
(1) 経常外収益									
経常外収益									0
経常外収益計	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(2) 経常費用									
経常外費用									0
経常外費用計	0	0	0	0	0	0	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0	0	0	0	0	0	0
他会計振替額									0
当期一般正味財産増減額	△2,380	0	96	△275	△148	0	△2	△185	△2,894
一般正味財産期首残高	5,727	14	923	4,371	176	0	△320	733	11,624
一般正味財産期末残高	3,347	14	1,019	4,096	28	0	△322	548	8,730
II 指定正味財産増減の部									
基本財産運用損益	370		96				24		490
一般正味財産への振替額	△370		△96				△24		△490
当期指定正味財産増減額	0	0	0	0	0	0	0	0	0
指定正味財産期首残高	149,594	0	149,641	0	0	0	243,671	0	542,906
指定正味財産期末残高	149,594	0	149,641	0	0	0	243,671	0	542,906
III 正味財産期末残高	152,941	14	150,660	4,096	28	0	243,349	548	551,636

4 資金調達及び設備投資の見込みについて

(令和5年4月1日から令和6年3月31日まで)

- 1 資金調達の見込みについて
当期中における借入の予定及び借入先等

借入の予定		なし	
事業番号	借入先	金額	使途

- 2 設備投資の見込みについて
当期中における重要な設備等（除却又は売却を含む。）の予定の有無

設備投資の予定		なし	
事業番号	設備投資の内容	支出又は収入の予定額	資金調達方法又は取得資金の使途

令和4年度

公益財団法人高松観光コンベンション・ビューローの事業報告及び決算について

I 令和4年度公益財団法人高松観光コンベンション・ビューロー事業報告書

令和4年4月 1日から

令和5年3月31日まで

1 概要

公益財団法人高松観光コンベンション・ビューローは、人・物・情報が活発に交流する個性と魅力ある都市づくりのため、観光客及びコンベンションの誘致を始め、観光とコンベンションを「有機的総合的」に展開し得る事業の取組を行ってきたほか、サンポート高松のにぎわい創出についても鋭意取組を進めてきた。

新型コロナウイルス感染症の影響が長期化する中、3年ぶりに行動制限のないゴールデンウィーク、夏休みを迎え、秋には全国旅行支援の開始や訪日外国人旅行者の入国規制が緩和されるなど、人の往来も大きく持ち直す動きがみられた。

このような中、コンベンション部門では、対面での誘致活動や商談会等への参加とオンラインを組み合わせることにより、概ね事業計画に基づき事業を実施することができ、全国大会等の開催についても、件数、人数ともにコロナ禍前の約7割程度まで回復することができた。

次に、観光部門では、瀬戸内国際芸術祭の開催、高松市屋島山上交流拠点施設「やしまーる」の開館、高松空港発着の国際線の再開などにより、観光客は着実に回復しつつある中で、新たな需要の掘り起こしに取り組むとともに、団体旅行を中心とした誘致事業を実施した。

また、サンポート高松のにぎわい創出部門では、十分な感染予防対策を講じることで、すべてのイベントアイデア募集事業を実施するなど、民間団体・企業等のイベントを支援し、のにぎわいの創出に努めた。

具体的には、コンベンション推進、観光振興、サンポート高松のにぎわい創出など、関係機関・各種団体と連携を密にし、以下の諸事業を実施した。

(1) 国際会議等の誘致及び支援などコンベンションを推進する事業

国際会議等の誘致の促進及び開催の円滑化等による国際観光の振興に関する法律に基づき、高松市は、国際会議観光都市に認定されていることから、本法律の目的を達するための国際会議等の推進を始め、全国大会等の誘致及び支援等を通じ、地域経済の活性化及び文化の向上に寄与するコンベンションを推進する事業を実施した。

(2) コンベンション開催支援補助金交付事業

国際会議や全国大会等の誘致及び誘致支援を促進するため、開催支援補助金を交付する事業を実施した。

(3) 観光客等の誘致及び受入れなど観光を振興する事業

観光は、地域経済の活性化、雇用の機会の増大等、地域経済のあらゆる領域にわたり、その発展に寄与するとともに、健康の増進、潤いのある豊かな生活環境の創造等を通じて市民生活の安定向上に貢献するものであることに加え、国内外の相互理解を増進するものであることから、高松市及び香川県の有する文化的、社会的、経済的特性をいかし、観光客の誘致や受入れを通じ、地域経済の活性化や国際相互理解の増進など、観光の振興に寄与する事業を実施した。

(4) 新たな観光資源開発のための旅行業法に基づく旅行業

高松市及び隣接自治体（岡山県玉野市を除く。以下「高松市等」という。）の新たな観光資源を掘り起こし、高松市等の新たな魅力の創造を図るため、これらを活用した企画開発、並びに利用者による情報発信を実施した。

(5) サンポート高松のにぎわいを創出する事業

サンポート高松に、人、物、情報等を集めることにより、にぎわいを創出し、国際交流、情報化の推進及び産業の振興並びに都市機能の活性化を図る事業を実施した。

(6) 高松市及び香川県への旅行者の利便の増進並びに観光資源開発のための観光案内所の運営・管理の受託

高松市に来訪する旅行者に対し、観光案内その他旅行に関する情報提供等を行い、旅行者の利便の増進に資することを目的として設置された同施設について、旅行者が快適に高松市や香川県での滞在を行えるよう情報提供を行うことは、当財団の公益目的事業の一環であるとともに、これに積極的に務めることで、高松市及び香川県のイメージアップにつながり、また、国籍や目的地の調査など新たな観光資源の開発に役立つことから、(公社)香川県観光協会からこれを受託し、管理運営する事業を実施した。

(7) その他この法人の目的を達成するために必要な事業

2 事業の内容

(1) 国際会議等の誘致及び支援などコンベンションを推進する事業

ア コンベンション誘致事業

現在、全国53か所の国際会議観光都市が選定され、世界はもとより、日本国内においても、国際会議等の誘致における都市間競争が激化している。このような状況の下、地域経済の発展のため積極的に誘致活動を展開した。

(ア) コンベンション主催団体等に対する誘致訪問

a 首都圏等主催事務局	11回	250団体
b 四国及び岡山県内の大学		15大学

(イ) 地元主催者等に対する誘致訪問

a 県内における大会関係者などへの誘致訪問	随時	20団体
b 県・市立学校校長会での開催支援制度説明		9月

(ウ) 共同誘致事業

a 地方都市コンベンション関連団体合同誘致セミナー (新潟・松本・岐阜・びわこ・和歌山・高松)	3回	東京
b I M E (国際M I C Eエキスポ) への出展	2月	東京
c 5都市共同誘致懇談会 (盛岡・金沢・静岡・高松・熊本)	2月	東京
d 中国四国コンベンション誘致推進協議会 中国四国地区団体誘致懇談会への出展	7月	岡山
e 四国地区観光コンベンション推進団体情報交換会	12月	東京
f J N T O 台湾 インセンティブセミナー	6月	高松
g J N T O シンガポール M I C Eセミナー	12月	オンライン
h 香川県M I C E誘致推進協議会との連携	11月	オンライン

イ コンベンション誘致支援事業

高松市や香川県でコンベンションを開催する意向がある団体等に対し、誘致手法に関する相談、開催計画の提案及び視察の受入れを行った。

- (ア) 主催者等招請事業及び視察受入れ 6回 15名受入れ
- (イ) 開催企画書のテンプレート提供 国際 15件
国内 5件
- (ウ) 国際会議・企業コンベンション誘致支援事業 0件

ウ コンベンション開催支援事業

大会主催者等に対し、コンベンション・コンシェルジュとして、感染症対策ガイドラインをはじめとする準備から開催までのノウハウの提供や、コンベンション運営スタッフの紹介など、情報提供及び利便性の向上を図った。また、ポストコロナ期に対応するためのハイブリッド会議開催支援助成金事業を行い、開催件数の増加に努めた。

- (ア) コンベンション・コンシェルジュとして主催者支援
 - a 会場予約・施設利用調整等
 - b 行政など関係機関との調整（後援、メッセージ等）
 - c ユニークベニュー、アフターコンベンション等の提案
- (イ) コンベンション運営スタッフ紹介事業（無料職業紹介事業）
- (ウ) 観光パンフレットの提供等各種参加者支援
- (エ) 大型コンベンション開催に伴う各施設との連携強化
- (オ) ハイブリッド会議開催支援助成金事業 4件

エ 広報宣伝事業

インターネットを活用した情報発信や専門誌等に対する広告で、高松市や香川県のコンベンション施設や支援制度を紹介するとともに、全国大会等の参加者向けのプロモーション映像を制作することで、コンベンションの開催及び参加率向上に向けて取り組んだ。

- (ア) 団体、賛助会員に対する啓発・周知
 - (イ) 専門誌等への広告 2回
 - (ウ) ホームページの充実による情報発信の強化
 - (エ) 参加者向け観光情報発信事業
 - ・高松MICE観光プロモーション映像の発信（Y o u T u b e）
- 5, 829回再生

オ コンベンション情報収集提供事業

誘致事業等により収集されたデータの整備や、コンベンション開催予定表の配布など、賛助会員等に対し情報提供を行った。また、大会主催者及び参加者にアンケート調査を行い、コンベンションがもたらす経済波及効果を試算し、公表した。くわえて、これまで蓄積した主催者情報及び大会情報データベースを活用し、コンベンション誘致活動をより一層効率的に実施できるよう努めた。

- (ア) 開催情報のデータ整備
- (イ) 統計書作成・経済波及効果・アンケート調査の実施 令和3年度 約19億円
- (ウ) コンベンションカレンダーの作成と提供
- (エ) 日本コンGRESS・コンベンション・ビューロー（JCCB）ビューロー部会への

参加

10月 上越

(オ) 主催者情報・大会情報データベースの整備

(カ) ブランドタグラインの作成

(2) コンベンション開催支援補助金交付事業

ア 全国大会等開催補助金の交付 (() 内は昨年度実績)

国際会議等	5件	(0件)
国内学会	8件	(4件)
国内大会	6件	(2件)
スポーツ大会	17件	(4件)
合宿	10件	(5件)
計	46件	(15件)

(3) 観光客等の誘致及び受入れなど観光を振興する事業

ア 観光客等誘致及び受入事業

県外及び国外に対し、高松市の観光資源等のPRを行うとともに、県外に対しては、商談会への参加、姉妹城都市・交流都市との都市交流事業等を実施した。また、国外に対しては、取材等の受入れや商談会に参加した。くわえて、これら事業の効果を高め、団体旅行、修学旅行の送客を促進するため、国内外の旅行会社に対し、送客実績に応じた誘致事業助成金を交付した。

(ア) 国内観光客誘致事業

- a 観光キャンペーン事業（ツーリズムEXPOジャパン）への出展 不参加
- b 都市交流事業（彦根市（姉妹城都市）・水戸市（親善都市）等）
 - ・姉妹城・親善都市と交流都市の観光と物産展 10月 高松
 - ・ひこねの城まつりパレード 11月 彦根
- c 四国観光商談会 10月 大阪・東京

(イ) 訪日外国人観光客誘致事業

- a 旅行社及びメディア等招請事業（東四国アジア広域周遊戦略事業） 中止
- b 香港MICE取扱旅行社招請事業（東四国アジア広域周遊戦略事業） 中止
- c VJ海上航路を活用した瀬戸内広域プロモーション事業（VJ地方連携事業） 中止
- d 訪日視察・取材受入事業 5件
- e 連携団体協同フォローアップ誘致訪問事業（地方連携事業） 中止
- f 訪日外国人旅行者誘致推進事業
 - ・東アジア向けインバウンド商談会 11月 高松

(ウ) 団体旅行誘致事業助成金

募集型・受注型団体旅行誘致促進事業助成金交付要綱を定め、次の募集型・受注型団体旅行に助成金を交付した。

【助成金交付実績】(() 内は昨年実績)

上半期	11件	(0件)
下半期	41件	(1件)
計	52件	(1件)

(エ) 修学旅行誘致事業助成金

修学旅行誘致促進事業助成金交付要綱を定め、次の修学旅行に助成金を交付した。

【助成金交付実績】(() 内は昨年実績)

上半期	15件	(2件)
下半期	6件	(26件)
計	21件	(28件)

イ 観光イベント等振興事業

各種観光パンフレットの作成及び配布を始め、3年ぶりの開催となる、さぬき高松まつり等の地元観光イベントへ参画するとともに、電動アシスト自転車の主要観光地での整備や手荷物の一時預かりを引き続き行い、観光客の利便性の向上を図った。くわえて、瀬戸内海を観光資源として捉え、魅力ある瀬戸内海クルージングを実施する民間事業者を支援することにより、瀬戸内海に面した優位性をいかした観光振興を図った。

(ア) 観光パンフレット等作成 さぬきうどん食べ歩きMAP

(イ) さぬき高松まつり 8月

(ウ) 屋島山上初日来迎式 中止

(エ) 観光レンタサイクル(電動)事業 690台

仏生山5台・塩江4台・八栗5台設置

(オ) 手ぶら観光推進事業(JR高松駅前) 7,927件

(カ) 瀬戸内海クルージング事業の支援 6月～9月 12回 158名

ウ 広報宣伝事業

高松市出身又は一定期間、居住及び活動した者で、観光振興に寄与することが期待される者を高松市観光大使として委嘱し、高松市の魅力をPRする事業のサポート、各種観光行事及び公的諸行事において観光宣伝を行う高松ゆめ大使・高松特別ゆめ大使事業、観光名刺の販売事業など各種事業を通じて、高松市の知名度アップやイメージアップを図った。

(ア) 高松市観光大使事業

a 研修会(やしまーる見学会ほか) 11月 16名

b 新規委嘱者 4名

(イ) 高松ゆめ大使・高松特別ゆめ大使事業 出務回数 10件

・高松ゆめ大使 3名委嘱

・高松特別ゆめ大使(ことちゃん・ことみちゃん) 2体委嘱

(ウ) 観光名刺販売事業

エ 調査企画事業

高松市の観光振興を図るため、高松市単独ではなく、近隣市町等との連携が必要不可欠であることから、関係機関で組織する懇談会等に参画し、共同事業等の実施に向けた検討を行った。

(ア) 四国地区観光情報交換会 6月 高松

(4) 新たな観光資源開発のための旅行業法に基づく旅行業

ア 着地型(募集型企画)旅行商品の造成・販売

地域経済の活性化に寄与するため、第3種旅行業の資格を活用し、着地型旅行(ぶち旅プラン)の企画及び実施を行った。また、身近な観光資源の掘り起こしや体験プログ

ラムの開発に取り組むとともに、モデルコースの充実に努めた。

商品造成 12本 86名

イ 和田邦坊ナビゲーター育成プロジェクト

令和3年度に引き続き、「香川県魅力ある観光コンテンツ造成支援事業補助金（ブラッシュアップ事業）」として、ナビゲーターの育成を行うとともに、ナビゲーターによる新たな観光コンテンツの開発、旅行商品化等に繋げた。

- ・オリジナル企画ツアーの実施 8名
- ・和田邦坊特別展でのナビゲータートーク 4回 85名
- ・リーフレット「KUNIBO MAGAZINE」第2版及び英語版の発行

(5) サポート高松のにぎわいを創出する事業

ア サポート高松のにぎわい創出事業

サポート高松において、イベントを実施したい民間団体・企業等に対し、イベント等に関する相談や実施に向けた協力、コロナ禍におけるイベント等の開催に係る留意事項、トラブルになりやすい警備や交通関係についてアドバイスを行うとともに、イベントアイデアを公募し、開催に向け支援するなど、関係諸団体と協力し、サポート高松のにぎわい創出に努めた。また、高松港玉藻防波堤灯台（せとしるべ）の航路標識協力団体として指定を受けたことから、本灯台の維持管理等の活動を行った。

(ア) 民間団体等主催のイベント募集及び共催等開催支援事業

支援（共催）事業 10件
(うちイベントアイデア採択事業 8件)

- (イ) ふれあいコンサート 3月
- (ウ) 高松港玉藻防波堤灯台（せとしるべ）見学会 2回 34名

イ 広報宣伝事業

ホームページ等により、サポート高松のイメージアップや知名度向上を図った。

- (ア) ホームページを活用したイベント等の情報提供事業 12回
- (イ) 情報誌等での広告宣伝事業 2回

ウ 調査企画事業

イベント等参加者に対する来場者アンケートの実施等サポート高松のにぎわい創出に必要な問題点の検討等を行った。

(6) 観光案内所（香川・高松ツーリストインフォメーション）の運営・管理の受託

高松市及び香川県内を主とした観光案内を行うほか、宿泊案内、周辺地域及び全国の観光案内、交通機関等の各種案内に関する情報を提供することにより、本県を訪れる観光客等の利便性を図り、さらなる満足度を高めるとともに、観光客のニーズを的確に把握し、観光資源開発に活用した。

また、観光圏整備法第10条に基づく認定観光圏案内所への登録や、JNTO認定外国人観光案内所 カテゴリー3（常時英語による対応が可能。その上で、英語を除く2以上の言語での案内が常時可能な体制がある。全国レベルの観光案内を提供。原則年中無休。Wifiあり。ゲートウェイや外国人来訪者の多い立地。）に登録されたことから、日本語のほか、3か国語に対応できるよう従事者を配置し、コロナ禍以降、回復基調にある訪日外国人旅行者への対応を行った。

- ・場 所 J R 高松駅構内
- ・運 営 日 毎日（年中無休）
- ・開所時間 9：00～20：00
- ・対応言語 日本語・英語・中国語・韓国語

利用件数 56,821件（うち外国人 6,678件）

利用人数 34,787人（うち外国人 4,000人）

（7）その他この法人の目的を達成するために必要な事業

ア 各種会議の開催

(ア) 評議員会			4月	6月	11月	2月
(イ) 理事会	5月	6月	10月	12月	2月	3月
(ウ) その他役員・評議員に関すること						

イ 賛助会員

（ア）賛助会員総会等の開催	中止
（イ）賛助会員名簿等の整備	
（ウ）賛助会員加入促進	
（エ）その他賛助会員に関すること	

ウ その他財団の必要なこと

（ア）経理業務	
（イ）処務業務	
（ウ）事務所維持管理	
（エ）インターネットを活用した広報及び情報提供	192, 135回
（オ）職員研修の実施	
（カ）機関紙の発行	
（キ）その他	

本年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成しない。

3 評議員会に関する事項

事業報告及び決算の承認並びに評議員及び役員の選任等に関する事項

議案事項	件 名	提出年月日	決議・承認 年 月 日
(臨時)			
議案第 1 号	評議員の選任について	R 4. 4. 18	R 4. 5. 12
議案第 2 号	理事の選任について	R 4. 4. 18	R 4. 5. 12
議案第 3 号	基本財産の取崩しについて	R 4. 4. 18	R 4. 5. 12
(定時)			
議案第 4 号	令和 3 年度事業報告及び決算について	R 4. 6. 28	R 4. 6. 28
議案第 5 号	評議員の選任について	R 4. 6. 28	R 4. 6. 28
議案第 6 号	理事の選任について	R 4. 6. 28	R 4. 6. 28
(臨時)			
議案第 7 号	評議員の選任について	R 4. 11. 15	R 4. 12. 5
議案第 8 号	役員の選任について	R 4. 11. 15	R 4. 12. 5
(臨時)			
議案第 9 号	役員及び評議員の報酬並びに費用に関する規程の一部改正について	R 5. 2. 27	R 5. 3. 14
議案第10号	役員の選任について	R 5. 2. 27	R 5. 3. 14

4 評議員に関する事項

(1) 令和 5 年 3 月 3 1 日現在の評議員

役 職	氏 名	所属・役職名	就任年月日
評 議 員	今 西 照 章	(一社) 香川県バス協会専務理事	H27. 6. 9
評 議 員	右 川 俊 二	香川県信用組合理事長	R 4. 12. 5
評 議 員	大 橋 和 夫	高松信用金庫理事長	R 2. 12. 1
評 議 員	岡 田 孝 浩	香川県農業協同組合中央会代表理事常務	H26. 4. 18

役 職	氏 名	所属・役職名	就任年月日
評 議 員	香 川 英 子	さぬき麺業（株）常務取締役	H25. 3. 26
評 議 員	金 本 英 明	（株）百十四銀行取締役常務執行役員	R 4. 5. 12
評 議 員	河 田 悦 夫	高松琴平電気鉄道（株）取締役管理本部長	R 4. 12. 5
評 議 員	桑 嶋 貴 史	（株）中央代表取締役社長	H13. 3. 26
評 議 員	佐 竹 広 平	四国電力（株）香川支店総務部長	R 3. 5. 7
評 議 員	佐 藤 今日子	香川県交流推進部長	R 2. 5. 14
評 議 員	竹 内 陽一郎	西日本放送（株）取締役営業統括	R 4. 12. 5
評 議 員	竹 田 省 二	（株）瀬戸内海放送取締役顧問	H16. 4. 1
評 議 員	寺 師 大 祐	高松タクシー協会会長	R 1. 6. 19
評 議 員	徳 永 孝 明	高松ホテル旅館料理協同組合副理事長	H24. 4. 1
評 議 員	中 井 昭 暢	屋島山上観光協会会長	R 4. 12. 5
評 議 員	中 川 昌 之	高松市創造都市推進局長	R 4. 5. 12
評 議 員	原 直 行	香川大学経済学部教授	H28. 6. 1
評 議 員	藤 澤 英 治	塩江温泉観光協会会長	H20. 4. 1
評 議 員	堀 川 満 弘	（一社）小豆島観光協会会長	R 4. 6. 28
評 議 員	榎 塚 賢 治	（公社）高松青年会議所直前理事長	R 4. 6. 28
評 議 員	森 惟 夫	香川県ゴルフ協会代議員	H20. 4. 1
評 議 員	山 下 洋 志	（株）高松三越代表取締役社長	R 2. 5. 14
評 議 員	吉 田 親 司	琴平町観光協会副会長	R 2. 6. 23

（２）評議員の退任

役 職	氏 名	選任時の所属・役職名	退任年月日
評 議 員	三 枝 邦 彦	（一社）小豆島観光協会副会長	R 4. 4. 4
評 議 員	谷 口 雄 紀	（公社）高松青年会議所理事長	R 4. 6. 28

役 職	氏 名	選任時の所属・役職名	退任年月日
評 議 員	川 畑 貢	香川県信用組合代表理事常務理事	R 4. 6. 29
評 議 員	富 永 久	西日本放送（株）取締役総務局長兼経営企画部長	R 4. 6. 29
評 議 員	石 川 雅 章	高松琴平電気鉄道（株）執行役員管理本部統括部長	R 4. 7. 1
評 議 員	森 静 家	屋島山上観光協会会長	R 4. 10. 17
評 議 員	佐 藤 今日子	香川県交流推進部長	R 5. 3. 31

5 理事会に関する事項

事業報告及び決算並びに事業計画、予算の承認、諸規程の改廃等に関する事項

議案事項	件 名	提出年月日	決議・承認 年 月 日
(第1回)			
議案第1号	副理事長の互選について	R 4. 5. 24	R 4. 5. 24
議案第2号	令和3年度事業報告及び決算（案）について	R 4. 5. 24	R 4. 5. 24
議案第3号	定時評議員会の開催について	R 4. 5. 24	R 4. 5. 24
(第2回)			
議案第4号	理事長・副理事長・専務理事の互選について	R 4. 6. 28	R 4. 6. 28
(第3回)			
議案第5号	臨時評議員会の開催について	R 4. 10. 12	R 4. 11. 8
(第4回)			
議案第6号	職員給与規程の一部改正について	R 4. 12. 20	R 5. 1. 10
議案第7号	嘱託職員の給与及び費用弁償に関する規程の一部改正について	R 4. 12. 20	R 5. 1. 10
(第5回)			
議案第8号	臨時評議員会の開催について	R 5. 2. 2	R 5. 2. 24
(第6回)			
議案第9号	令和5年度事業計画及び予算について	R 5. 3. 29	R 5. 3. 29

議案事項	件 名	提出年月日	決議・承認 年 月 日
議案第10号	理事の利益相反取引の承認について	R 5. 3. 29	R 5. 3. 29
議案第11号	専務理事の互選について	R 5. 3. 29	R 5. 3. 29
議案第12号	事務局長の選任について	R 5. 3. 29	R 5. 3. 29
議案第13号	臨時評議員会の開催について	R 5. 3. 29	R 5. 3. 29

6 役員に関する事項

(1) 令和5年3月31日現在の役員

役 職	氏 名	所属・役職名	就任年月日
理 事 長	佐 野 正	(株) ジェイアール四国企画顧問	H26. 4. 18
副 理 事 長	三 矢 昌 洋	高松ホテル旅館料理協同組合相談役	H 6. 9. 27
副 理 事 長	横 関 則 夫	香川県交流推進部次長	R 4. 5. 12
副 理 事 長	一 原 玄 子	高松市創造都市推進局参事(観光・M I C E推進担当)	R 4. 6. 28
副 理 事 長	長 井 一 喜	高松商工会議所常務理事・事務局長	R 4. 5. 12
専 務 理 事	東 原 利 則	(公財) 高松観光コンベンション・ビューロー専務理事	H30. 4. 1
理 事	石 川 孝 雄	シンボルタワー開発(株) 専務取締役	R 2. 6. 23
理 事	北 島 茂 俊	香川県社交飲食業生活衛生同業組合高松支部副支部長	H28. 6. 1
理 事	木 村 重 之	(公財) 高松市文化芸術財団常務理事	R 3. 5. 7
理 事	辻 田 浩 一	香川県ホテル協会会長	R 4. 6. 28
理 事	中 橋 健 史	日本航空(株) 高松支店長	R 4. 12. 5
理 事	長 村 直 樹	(株) 電通西日本高松支社長	R 4. 6. 28
理 事	西 尾 一 輝	(株) J T B 高松支店長	R 3. 5. 7
理 事	野 田 勉	レクザムホール(香川県県民ホール) 館長	R 2. 12. 1
理 事	古 川 康 造	高松中央商店街振興組合連合会理事長	H25. 6. 24
理 事	松 村 英 幹	高松商運(株) 代表取締役社長	H26. 5. 23

役 職	氏 名	所属・役職名	就任年月日
理 事	森 川 稔	セーラー広告（株）取締役第一営業局長	R 3. 6. 22
理 事	吉 岡 大	全日本空輸（株）高松支店長	R 3. 5. 7
監 事	有 木 浩	（株）香川銀行常務取締役	R 4. 12. 5
監 事	勝 丸 千 晶	公認会計士	H30. 6. 29

（２）役員の退任

役 職	氏 名	選任時の所属・役職名	退任年月日
副 理 事 長	次 田 吉 治	高松市創造都市推進局文化・観光・スポーツ部長	R 4. 6. 28
理 事	高 橋 宗 民	香川県ホテル協会会長	R 4. 6. 28
理 事	真 鍋 睦	（株）電通西日本高松支社長	R 4. 6. 28
監 事	川 井 幸 治	（株）香川銀行常務取締役	R 4. 7. 29
理 事	国 分 伸 二	（公社）香川県観光協会専務理事	R 4. 7. 31
理 事	小 田 和 彦	日本航空（株）高松支店長	R 4. 9. 30
副 理 事 長	一 原 玄 子	高松市創造都市推進局参事（観光・M I C E推進担当）	R 5. 3. 31
専 務 理 事	東 原 利 則	（公財）高松観光コンベンション・ビューロー専務理事	R 5. 3. 31
理 事	木 村 重 之	（公財）高松市文化芸術財団常務理事	R 5. 3. 31
理 事	吉 岡 大	全日本空輸（株）高松支店長	R 5. 3. 31

Ⅱ 令和４年度公益財団法人高松観光コンベンション・ビューロー決算書

１ 収 支 計 算 書

(令和４年４月１日から令和５年３月３１日まで)

(単位：円)

科 目	予算額	決算額	差 異
I 事業活動収支の部			
1 事業活動収入			
(1) 基本財産運用収入			
基本財産利息収入	4,090,000	5,817,281	△ 1,727,281
(2) 会費収入			
賛助会員会費収入	6,600,000	5,790,000	810,000
(3) 事業収入			
広告等収入	378,000	253,000	125,000
使用料収入	150,000	69,000	81,000
参加料収入	600,000	172,100	427,900
旅行商品販売収入	586,000	194,100	391,900
物品等販売収入	1,135,000	1,068,220	66,780
(4) 補助金等収入			
香川県補助金収入	9,370,000	8,385,929	984,071
高松市補助金収入	80,320,000	70,727,328	9,592,672
開催支援補助金事業収入	18,000,000	14,782,124	3,217,876
(5) 受託事業収入			
受託事業収入	18,079,000	14,868,661	3,210,339
(6) 特定資産運用収入			
退職給付引当金運用収入	5,000	447	4,553
(7) 雑収入			
雑収入	6,000	136,773	△ 130,773
事業活動収入計	139,319,000	122,264,963	17,054,037
2 事業活動支出			
(1) 事業費			
コンベンション推進事業費	11,038,000	10,590,289	447,711
開催支援補助金事業費	18,000,000	14,782,124	3,217,876
観光客誘致事業費	11,919,000	9,245,895	2,673,105
観光振興事業費	5,608,000	3,445,298	2,162,702
旅行業事業費	1,350,000	870,510	479,490
にぎわい創出事業費	3,148,000	2,614,746	533,254
観光施設管理運営事業費	18,079,000	14,868,661	3,210,339
人件費	31,425,000	29,276,603	2,148,397

(単位：円)

科 目	予算額	決算額	差 異
(2) 管理費			
役員報酬	4,856,000	4,446,000	410,000
人件費	16,278,000	15,909,853	368,147
法人管理運営費	17,618,000	16,274,984	1,343,016
事業活動支出計	139,319,000	122,324,963	16,994,037
事業活動収支差額	0	△ 60,000	60,000
II 投資活動収支の部			
1 投資活動収入			
(1) 退職給付引当預金積立収入	917,000	924,328	△ 7,328
(2) 基本財産取崩収入	15,000,000	0	15,000,000
(3) 特定資産取崩収入			
退職給付資産取崩収入	17,929,000	17,928,586	414
(4) 固定資産戻り収入			
敷金・保証金戻り収入	0	60,000	△ 60,000
投資活動収入計	33,846,000	18,912,914	14,933,086
2 投資活動支出			
(1) 基本財産取得支出	15,000,000	0	15,000,000
(2) 職員退職給付支出	17,929,000	17,928,586	414
投資活動支出計	32,929,000	17,928,586	15,000,414
投資活動収支差額	917,000	984,328	△ 67,328
III 財務活動の部			
1 財務活動収入			
(1) 借入金収入			
短期借入金収入	4,000,000	0	4,000,000
財務活動収入計	4,000,000	0	4,000,000
2 財務活動支出			
(1) 借入金返済支出			
短期借入金返済支出	4,000,000	0	4,000,000
(2) 退職給付引当金組戻支出	917,000	924,328	△ 7,328
財務活動支出計	4,917,000	924,328	3,992,672
財務活動収支差額	△ 917,000	△ 924,328	7,328
IV 予備費支出	0	0	0
当期収支差額	0	0	0
前期繰越収支差額	0	0	0
次期繰越収支差額	0	0	0

収支計算書に対する注記

1 資金の範囲

資金の範囲には、現金預金、売掛金、未収金、立替金、買掛金、未払金、未払費用、前受金、預り金及び未払消費税を含めており、当期末の残高は、次項に記載のとおりである。

2 次期繰越収支差額に含まれる資産及び負債の内訳

(単位：円)

科 目	前期末金額	当期末金額
1 流動資産		
現金預金	26,213,894	19,410,759
売掛金	0	33,980
未収金	3,651,972	3,779,815
立替金	0	127,600
流動資産合計	29,865,866	23,352,154
1 流動負債		
買掛金	0	92,400
未払金	28,390,787	21,624,442
未払費用	146,582	167,105
前受金	0	159,000
預り金	839,798	760,970
未払消費税	488,699	548,237
流動負債合計	29,865,866	23,352,154
次期繰越収支差額	0	0

2 貸 借 対 照 表

(令和5年3月31日現在)

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 資産の部			
1 流動資産			
現金預金	19,410,759	26,213,894	△ 6,803,135
売掛金	33,980	0	33,980
未収金	3,779,815	3,651,972	127,843
立替金	127,600	0	127,600
棚卸資産	1,270,717	1,858,400	△ 587,683
流動資産合計	24,622,871	31,724,266	△ 7,101,395
2 固定資産			
(1) 基本財産			
普通預金	50,030,016	14	50,030,002
定期預金	47,912,770	47,064,073	848,697
投資有価証券	490,932,969	497,248,486	△ 6,315,517
基本財産合計	588,875,755	544,312,573	44,563,182
(2) 特定資産			
退職給付引当資産	16,198,089	33,202,347	△ 17,004,258
供託金	3,000,000	3,000,000	0
特定資産合計	19,198,089	36,202,347	△ 17,004,258
(3) その他固定資産			
建物	389,481	423,849	△ 34,368
建物附属設備	80,999	92,043	△ 11,044
器具備品	5,713,947	7,354,309	△ 1,640,362
電話加入権	145,600	145,600	0
保証金	0	60,000	△ 60,000
その他固定資産合計	6,330,027	8,075,801	△ 1,745,774
固定資産合計	614,403,871	588,590,721	25,813,150
資産合計	639,026,742	620,314,987	18,711,755
II 負債の部			
1 流動負債			
買掛金	92,400	0	92,400
未払金	21,624,442	28,390,787	△ 6,766,345
未払費用	167,105	146,582	20,523
前受金	159,000	0	159,000
預り金	760,970	839,798	△ 78,828
賞与引当金	2,241,143	1,613,317	627,826
未払消費税	548,237	488,699	59,538
流動負債合計	25,593,297	31,479,183	△ 5,885,886
2 固定負債			
退職給付引当金	16,198,089	33,202,347	△ 17,004,258
固定負債合計	16,198,089	33,202,347	△ 17,004,258
負債合計	41,791,386	64,681,530	△ 22,890,144

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増 減
Ⅲ 正味財産の部			
1 指定正味財産			
高松市出捐金	300,000,000	300,000,000	0
高松市基本財産積立金	91,906,000	91,906,000	0
香川県出捐金	150,000,000	150,000,000	0
民間団体寄付金	1,000,000	1,000,000	0
外貨建投資有価証券評価額	44,391,992	0	44,391,992
指定正味財産合計	587,297,992	542,906,000	44,391,992
(うち基本財産への充当額)	(587,297,992)	(542,906,000)	(44,391,992)
2 一般正味財産	9,937,364	12,727,457	△ 2,790,093
(うち基本財産への充当額)	(1,577,763)	(1,406,573)	(171,190)
(うち特定資産への充当額)	(3,000,000)	(3,000,000)	(0)
正味財産合計	597,235,356	555,633,457	41,601,899
負債及び正味財産合計	639,026,742	620,314,987	18,711,755

貸借対照表内訳表

(令和5年3月31日現在)

(単位：円)

科 目	公益目的事業							法人会計	合計
	公1 コンベンション	公2 開催支援補助	公3 観光客誘致等	公4 旅 行 業	公5 にぎわい創出	公6 観光案内所	共通		
I 資産の部									
1 流動資産									
現金預金	544,499	3,563,000	5,505,982	80,675	105,450	3,862,293	2,543,912	3,204,948	19,410,759
売掛金			33,980						33,980
未収金	1,034,643		69,000	6,958	219,312	545,231	1,775,974	128,697	3,779,815
立替金							127,600		127,600
棚卸資産	1,108,517		162,200						1,270,717
流動資産合計	2,687,659	3,563,000	5,771,162	87,633	324,762	4,407,524	4,447,486	3,333,645	24,622,871
2 固定資産									
(1) 基本財産									
普通預金	50,030,016								50,030,016
定期預金	3,331,707		131,063						47,912,770
投資有価証券	118,041,576		172,983,687						490,932,969
基本財産合計	171,403,299	0	173,114,750	0	0	0	244,357,706	0	588,875,755
(2) 特定資産									
退職給付引当資産									
供託金				3,000,000				16,198,089	16,198,089
特定資産合計	0	0	0	3,000,000	0	0	0	16,198,089	3,000,000
(3) その他固定資産									
建物									
建物附属設備								389,481	389,481
器具備品	3,197,335		1	1,356,537	162,000			80,999	80,999
電話加入権	22,750	13,650	40,950	13,650	13,650		4,550	998,074	5,713,947
その他固定資産合計	3,220,085	13,650	40,951	1,370,187	175,650	0		36,400	145,600
固定資産合計	174,623,384	13,650	173,155,701	4,370,187	175,650	0	4,550	1,504,954	6,330,027
資産合計	177,311,043	3,576,650	178,926,863	4,457,820	500,412	4,407,524	248,809,742	21,036,688	639,026,742

(単位：円)

科 目	公益目的事業							法人会計	合計
	公1 コンベンション	公2 開催支援補助	公3 観光客誘致等	公4 旅 行 業	公5 にぎわい創出	公6 観光案内所	共通		
II 負債の部									
1 流動負債									
買掛金			92,400						92,400
未払金	1,579,142	3,563,000	5,357,562	87,633	324,762	3,859,287	4,447,486	2,405,570	21,624,442
未払費用			159,000					167,105	167,105
前受金									159,000
預り金								760,970	760,970
賞与引当金								734,552	2,241,143
未払消費税						548,237			548,237
流動負債合計	1,579,142	3,563,000	5,608,962	87,633	324,762	4,407,524	5,954,077	4,068,197	25,593,297
2 固定負債									
退職給付引当金								16,198,089	16,198,089
固定負債合計	0	0	0	0	0	0	0	16,198,089	16,198,089
負債合計	1,579,142	3,563,000	5,608,962	87,633	324,762	4,407,524	5,954,077	20,266,286	41,791,386
III 正味財産の部									
1 指定正味財産									
高松市出捐金	99,594,000		99,641,000				100,765,000		300,000,000
高松市基本財産積立金							91,906,000		91,906,000
香川県出捐金	50,000,000		50,000,000				50,000,000		150,000,000
民間団体寄付金							1,000,000		1,000,000
外貨建投資有価証券評価額	21,766,563		22,625,429						44,391,992
指定正味財産合計	171,360,563	0	172,266,429	0	0	0	243,671,000	0	587,297,992
(うち基本財産への充当額)	(171,360,563)		(172,266,429)				(243,671,000)		(587,297,992)
2 一般正味財産	4,371,338	13,650	1,051,472	4,370,187	175,650	0	△ 815,335	770,402	9,937,364
(うち基本財産への充当額)	(42,736)		(848,321)	(3,000,000)			(686,706)		(1,577,763)
(うち特定資産への充当額)									(3,000,000)
正味財産合計	175,731,901	13,650	173,317,901	4,370,187	175,650	0	242,855,665	770,402	597,235,356
負債及び正味財産合計	177,311,043	3,576,650	178,926,863	4,457,820	500,412	4,407,524	248,809,742	21,036,688	639,026,742

3 正 味 財 産 増 減 計 算 書

(令和4年4月1日から令和5年3月31日まで)

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益			
基本財産受取利息	6,039,278	5,476,358	562,920
特定資産運用益			
退職給付資産運用益	447	1,422	△ 975
受取会費			
賛助会員受取会費	5,790,000	5,735,000	55,000
事業収入			
広告等収入	253,000	253,000	0
使用料収入	69,000	51,800	17,200
参加料収入	172,100	30,000	142,100
旅行業販売収入	194,100	87,050	107,050
物品等販売収入	1,068,220	865,520	202,700
受取補助金			
受取香川県補助金	8,385,929	7,091,081	1,294,848
受取高松市補助金	70,727,328	71,801,243	△ 1,073,915
受取開催支援事業補助金	14,782,124	8,163,593	6,618,531
受託事業収入			
観光施設管理運営事業収入	14,868,661	12,958,340	1,910,321
為替差益			
為替差益	243,717	0	243,717
雑収入			
雑収入	136,773	231,195	△ 94,422
経常収益計	122,730,677	112,745,602	9,985,075
(2) 経常費用			
事業費			
給料手当	25,557,711	21,532,149	4,025,562
福利厚生費	4,088,590	4,201,885	△ 113,295
会議費	341,433	113,000	228,433
旅費交通費	2,444,902	688,673	1,756,229
報酬	191,378	496,506	△ 305,128
通信運搬費	50,589	29,622	20,967
消耗品費	277,444	153,188	124,256
印刷製本費	3,417,975	4,528,500	△ 1,110,525
賃借料	383,953	429,862	△ 45,909
支払負担金	11,955,912	10,629,344	1,326,568
支払補助金	18,277,124	10,578,593	7,698,531
雑費	24,388	9,640	14,748
広告宣伝費	647,321	515,373	131,948
委託料	6,919,634	5,209,508	1,710,126
臨時雇賃金等	7,475,915	6,476,949	998,966
仕入費	901,057	596,571	304,486
人材派遣費	0	1,015,477	△ 1,015,477
報償費	62,480	1,096,205	△ 1,033,725

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増 減
修繕費	525,900	0	525,900
保険料	13,140	5,628	7,512
租税公課	866,237	845,299	20,938
退職給付費用	216,900	231,615	△ 14,715
支払手数料	24,791	29,305	△ 4,514
新聞図書費	59,940	46,850	13,090
諸会費	350,000	300,000	50,000
為替差損	294,524	0	294,524
減価償却費	3,127,196	1,560,795	1,566,401
賞与引当金繰入	1,506,591	987,095	519,496
管理費			
給料手当	9,254,908	13,277,484	△ 4,022,576
福利厚生費	2,662,721	3,191,590	△ 528,869
会議費	18,772	2,706	16,066
旅費交通費	2,660	0	2,660
通信運搬費	1,213,953	1,245,585	△ 31,632
消耗品費	561,131	744,323	△ 183,192
印刷製本費	385,726	410,300	△ 24,574
賃借料	10,515,453	10,557,925	△ 42,472
支払負担金	63,000	45,000	18,000
広告宣伝費	379,522	342,821	36,701
委託料	522,500	405,900	116,600
臨時雇賃金等	1,498,236	958,870	539,366
人材派遣費	1,160,338	1,508,858	△ 348,520
光熱水費	1,153,260	1,072,930	80,330
役員報酬	4,446,000	4,224,030	221,970
修繕費	3,300	8,741	△ 5,441
燃料費	40,000	40,000	0
保険料	205,400	188,030	17,370
租税公課	32,000	35,200	△ 3,200
退職給付費用	707,428	1,768,385	△ 1,060,957
支払手数料	135,925	92,522	43,403
備品購入費	40,910	0	40,910
新聞図書費	105,801	106,239	△ 438
諸会費	689,772	702,051	△ 12,279
減価償却費	161,467	140,878	20,589
賞与引当金繰入	734,552	626,222	108,330
経常費用計	126,697,760	114,004,222	12,693,538
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 3,967,083	△ 1,258,620	△ 2,708,463
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	△ 3,967,083	△ 1,258,620	△ 2,708,463

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増 減
2 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
前期損益修正益	1,177,000	0	1,177,000
経常外収益計	1,177,000	0	1,177,000
(2) 経常外費用			
固定資産除去損	10	0	10
経常外費用計	10	0	10
当期経常外増減額	1,176,990	0	1,176,990
他会計振替額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	△ 2,790,093	△ 1,258,620	△ 1,531,473
一般正味財産期首残高	12,727,457	13,986,077	△ 1,258,620
一般正味財産期末残高	9,937,364	12,727,457	△ 2,790,093
II 指定正味財産増減の部			
基本財産評価損益	44,391,992	0	44,391,992
基本財産運用損益	191,997	335,272	△ 143,275
一般正味財産への振替額	△ 191,997	△ 335,272	143,275
当期指定正味財産増減額	44,391,992	0	44,391,992
指定正味財産期首残高	542,906,000	542,906,000	0
指定正味財産期末残高	587,297,992	542,906,000	44,391,992
III 正味財産期末残高	597,235,356	555,633,457	41,601,899

正味財産増減計算書内訳表

(令和4年4月1日から令和5年3月31日まで)

(単位：円)

科 目	公益目的事業会計						法人会計	合計
	公1 コンベンション	公2 開催支援補助	公3 観光客誘致等	公4 旅 行 業	公5 にぎわい創出	公6 観光案内所	共通	
I 一般正味財産増減の部								
1 経常増減の部								
(1) 経常収益								
基本財産運用益	2,550,492		2,680,336				808,450	6,039,278
基本財産受取利息								
特定資産運用益								
退職給付資産運用益								
受取会費								
賛助会員受取会費	1,932,000		1,926,000				1,932,000	5,790,000
事業収入								
広告等収入								
使用料収入			69,000					253,000
参加料収入								69,000
旅行業販売収入				194,100			172,100	172,100
物品等販売収入	350,250		717,970					194,100
受取補助金								1,068,220
受取香川県補助金	2,823,857		671,000		1,257,598		3,633,474	8,385,929
受取高松市補助金	2,853,858		6,905,233	676,410	1,357,148		22,926,162	70,727,328
受取開催支援事業補助金		14,782,124						14,782,124
受託事業収入								
観光施設管理運営事業収入						14,868,661		14,868,661
為替差益								
為替差益	154,618		89,099					243,717
雑収入								
雑収入							136,773	136,773
経常収益計	10,665,075	14,782,124	13,058,638	870,510	2,614,746	14,868,661	29,300,086	122,730,677

(単位：円)

科 目	公益目的事業会計						法人会計	合計
	公 1 コンベンション	公 2 開催支援補助	公 3 観光客誘致等	公 4 旅 行 業	公 5 にぎわい創出	公 6 観光案内所	共通	
(2) 経常費用								
事業費								
給料手当	41,950		298,861		622	1,347,970	24,209,741	25,557,711
福利厚生費	2,114,475		232,110			225,723	3,862,867	4,088,590
会議費	30,864		130,360		30,154	98,317		341,433
旅費交通費	50,589							2,444,902
報酬	5,127		62,152			210,165		191,378
通信運搬費	1,179,475		1,813,900		424,600			50,589
消耗品費	56,281		256,252		9,820	61,600		277,444
印刷製本費	4,946,340	14,782,124	5,009,572		2,000,000			3,417,975
賃借料			3,445,000		50,000			383,953
支払負担金								11,955,912
支払補助金								18,277,124
雑費	16,228		8,160					24,388
広告宣伝費	487,760		38,561		99,000	22,000		647,321
委託料	1,140,850		671,000	726,000		4,381,784		6,919,634
臨時雇賃金等						7,475,915		7,475,915
仕入費	349,483		413,544	138,030				901,057
報償費			62,480					62,480
修繕費			396,000			129,900		525,900
保険料			7,378	5,762				13,140
租税公課						866,237		866,237
退職給付費用							216,900	216,900
支払手数料	350		22,843	718	550	330		24,791
新聞図書費			11,220			48,720		59,940
諸会費	300,000		50,000					350,000
為替差損	294,524							294,524
減価償却費	2,808,300			156,896	162,000			3,127,196
賞与引当金繰入							1,506,591	1,506,591

(単位：円)

科 目	公益目的事業会計						法人会計	合計
	公 1 コンベンション	公 2 開催支援補助	公 3 観光客誘致等	公 4 旅 行 業	公 5 にぎわい創出	公 6 観光案内所	共通	
管理費								
給料手当							9,254,908	9,254,908
福利厚生費							2,662,721	2,662,721
会議費							18,772	18,772
旅費交通費							2,660	2,660
通信運搬費							1,213,953	1,213,953
消耗品費							561,131	561,131
印刷製本費							385,726	385,726
賃借料							10,515,453	10,515,453
支払負担金							63,000	63,000
広告宣伝費							379,522	379,522
委託料							522,500	522,500
臨時雇賃金等							1,498,236	1,498,236
人材派遣費							1,160,338	1,160,338
光熱水費							1,153,260	1,153,260
役員報酬							4,446,000	4,446,000
修繕費							3,300	3,300
燃料費							40,000	40,000
保険料							205,400	205,400
租税公課							32,000	32,000
退職給付費用							707,428	707,428
支払手数料							135,925	135,925
備品購入費							40,910	40,910
新聞図書費							105,801	105,801
諸会費							689,772	689,772
減価償却費							161,467	161,467
賞与引当金繰入							734,552	734,552
経常費用計	13,822,596	14,782,124	12,929,393	1,027,406	2,776,746	14,868,661	29,796,099	126,697,760
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 3,157,521	0	129,245	△ 156,896	△ 162,000	0	△ 496,013	△ 3,967,083
評価損益等計	0	0	0	0	0	0	0	0
当期経常増減額	△ 3,157,521	0	129,245	△ 156,896	△ 162,000	0	△ 496,013	△ 3,967,083

(単位：円)

科 目	公益目的事業会計							法人会計	合計
	公1 コンベンション	公2 開催支援補助	公3 観光客誘致等	公4 旅 行 業	公5 にぎわい創出	公6 観光案内所	共通		
2 経常外増減の部									
(1) 経常外収益				1,177,000					1,177,000
前期損益修正益	0	0	0	1,177,000	0	0	0	0	1,177,000
経常外収益計									
(2) 経常外費用	1	1	2	1	1			4	10
固定資産除去損	1	1	2	1	1	0	0	4	10
経常外費用計	△ 1	△ 1	△ 2	1,176,999	△ 1	0	0	△ 4	1,176,990
当期経常外増減額	0	0	0	0	0	0	0	0	0
他会計振替額	△ 3,157,522	△ 1	129,243	1,020,103	△ 162,001	0	△ 496,013	△ 123,902	△ 2,790,093
当期一般正味財産増減額	7,528,860	13,651	922,229	3,350,084	337,651	0	△ 319,322	894,304	12,727,457
一般正味財産期首残高	4,371,338	13,650	1,051,472	4,370,187	175,650	0	△ 815,335	770,402	9,937,364
一般正味財産期末残高									
II 指定正味財産増減の部									
基本財産評価損益	21,766,563		22,625,429						44,391,992
基本財産運用損益	△ 33,881		202,395				23,483		191,997
一般正味財産への振替額	33,881		△ 202,395				△ 23,483		△ 191,997
当期指定正味財産増減額	21,766,563	0	22,625,429	0	0	0	0	0	44,391,992
指定正味財産期首残高	149,594,000	0	149,641,000	0	0	0	243,671,000	0	542,906,000
指定正味財産期末残高	171,360,563	0	172,266,429	0	0	0	243,671,000	0	587,297,992
III 正味財産期末残高	175,731,901	13,650	173,317,901	4,370,187	175,650	0	242,855,665	770,402	597,235,356

財務諸表に対する注記

1 重要な会計方針

(1) 有価証券の評価基準及び評価方法について

満期保有目的債券については、償却原価法（定額法）により評価している。なお、外貨建債権については、外国通貨による償却額を期中平均相場により円換算した額としている。

(2) 棚卸資産の評価基準及び評価方法

総平均法による原価法により評価している。

(3) 引当金の計上基準について

・退職給付引当金

職員の退職給付に備えるため、当期末における退職給付債務に基づき、当期末において発生していると認められる額を計上している。

・賞与引当金

職員に対して支給する賞与に充てるため、支給見込額に基づき当決算期に見合う額を計上している。

(4) 消費税及び地方消費税の処理について

税込方法によっている。

(5) 固定資産の減価償却の方法について

・有形固定資産

法人税法等に定める耐用年数に基づく定額法によっている。

・無形固定資産（ソフトウェア）

利用可能期間（５年）に基づく定額法によっている。

(6) 外貨建の資産及び負債について

外国通貨、外貨建金銭債権債務（外貨預金を含む。）、外貨建有価証券等については、子会社株式及び関連会社株式を除き、決算時の為替相場による円換算額を付している。決算時における換算によって生じた換算差額は、原則として、当期の為替差損益として処理している。

(7) リース取引の会計処理

所有権移転外ファイナンスリース取引のうち重要性の乏しい取引については、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっている。

2 重要な会計方針の変更

外貨建資産負債の換算方法を下表のとおり行っていたが、公益法人会計基準に示される外貨建有価証券の会計処理に係る実務上の指針に従って処理することとした。

外貨建資産等の区分		外国通貨の種類	換算方法
外貨建有価証券	満期保有目的債券	米ドル	発生時換算法
外 貨 預 金	短期外貨預金	米ドル	期末時換算法
	長期外貨預金	米ドル	発生時換算法

3 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

(単位：円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
普通預金	14	50,030,002	0	50,030,016
投資有価証券	497,248,486	44,882,671	51,198,188	490,932,969
定期預金	47,064,073	848,697	0	47,912,770
小 計	544,312,573	95,761,370	51,198,188	588,875,755
特定資産				
退職給付引当資産	33,202,347	924,328	17,928,586	16,198,089
供託金	3,000,000	0	0	3,000,000
小 計	36,202,347	924,328	17,928,586	19,198,089
合 計	580,514,920	96,685,698	69,126,774	608,073,844

4 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

(単位：円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財産からの充当額)	(うち一般正味財産からの充当額)	(うち負債に 対応する額)
基本財産				
普通預金	50,030,016	(50,030,000)	(16)	—
投資有価証券	490,932,969	(490,932,969)	(0)	—
定期預金	47,912,770	(46,335,023)	(1,577,747)	—
小 計	588,875,755	(587,297,992)	(1,577,763)	—
特定資産				
退職給付引当資産	16,198,089	—	—	(16,198,089)
供託金	3,000,000	—	(3,000,000)	—
小 計	19,198,089	—	(3,000,000)	(16,198,089)
合 計	608,073,844	(587,297,992)	(4,577,763)	(16,198,089)

5 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

(単位：円)

科 目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
建物（事務所間仕切）	652,968	263,487	389,481
建物附属設備（電気設備等）	165,672	84,674	80,998
建物附属設備（事務所簡易間仕切）	318,600	318,599	1
器具備品（給与ソフト（給与大臣NX Super））	205,899	20,589	185,310
器具備品（事務所ブラインド）	143,856	71,928	71,928
器具備品（全国大会等情報DB一式）	2,109,896	1,596,561	513,335
器具備品（旅行業予約管理システム）	1,177,000	117,700	1,059,300
器具備品（手ぶら観光カウンター）	980,640	408,599	572,041
器具備品（ワイヤレスガイドシステム一式）	391,960	94,723	297,237
器具備品（事務局LAN配線等設備一式）	234,238	65,443	168,795
器具備品（高松盆栽PRビデオ）	4,800,000	4,799,999	1
器具備品（高松MICE観光プロモ映像）	5,148,000	2,464,000	2,684,000
器具備品（サンポくん着ぐるみ）	810,000	648,000	162,000
電話加入権	145,600	0	145,600
合 計	17,284,329	10,954,302	6,330,027

6 満期保有目的債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益

(単位：円)

科 目	帳簿価額	時 価	評価損益
国債			
米国財務省中期証券	122,989,507	110,396,284	△12,593,223
地方債			
平成25年第7回北海道公募公債	49,994,180	50,160,000	165,820
第31回1号宮城県公募公債	50,041,639	50,470,000	428,361
第406回大阪府公募公債	49,962,819	49,930,000	△32,819
第392回大阪府公募公債	49,974,274	50,323,000	348,726
第432回大阪府公債	49,928,974	49,815,000	△113,974
政府保証債			
（株）国際協力銀行政府保証外債	118,041,576	108,516,474	△9,525,102
合 計	490,932,969	469,610,758	△21,322,211

7 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高

(単位：円)

補助金等の名称	交付者	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高	貸借対照表上の記載区分
出捐金						
高松市出捐金	高松市	300,000,000			300,000,000	指定正味財産
香川県出捐金	香川県	150,000,000			150,000,000	指定正味財産
寄付金						
民間団体寄付金	高松タクシー協会	1,000,000			1,000,000	指定正味財産
補助金						
基本財産積立金	高松市	91,906,000			91,906,000	指定正味財産
高松市観光交流課 関係団体運営等補助金	高松市	0	85,509,452	85,509,452	0	流動資産
香川県サポート高松 にぎわい創出事業補助金	香川県	0	7,714,929	7,714,929	0	流動資産
香川県魅力ある観光コンテ ンツ造成支援事業補助金	香川県	0	671,000	671,000	0	流動資産
合 計		542,906,000	93,895,381	93,895,381	542,906,000	

8 固定負債の増減額及びその残高

(単位：円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
固定負債				
退職給付引当金	33,202,347	924,328	17,928,586	16,198,089
合 計	33,202,347	924,328	17,928,586	16,198,089

9 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳

指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

内 容	金 額
経常収益への振替額	191,997
合 計	191,997

附 属 明 細 書

1 基本財産及び特定資産の明細

財務諸表に対する注記の記載事項に同じ。

2 引当金の明細

(単位：円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額		当期末残高
			目的使用	その他	
流動負債					
賞与引当金	1,613,317	2,241,143	1,613,317		2,241,143
固定負債					
退職給付引当金	33,202,347	924,328	17,928,586		16,198,089
合 計	34,815,664	3,165,471	19,541,903	0	18,439,232

4 財 産 目 録

(令和5年3月31日現在)

(単位：円)

科目等	使用目的等	金額
I 資産の部		
1 流動資産		
現金預金		
現金手許有高	運転資金として	0
普通預金 百十四銀行高松市役所支店（８９８）	運転資金として	1,408,062
普通預金 百十四銀行高松市役所支店（１１６）		14,823,002
普通預金 香川銀行本店		541,009
普通預金 四国労働金庫本店営業部		752,593
普通預金 高松信用金庫本店営業部		2,764
普通預金 香川県信用組合本店営業部		2,660
普通預金 香川県農業協同組合本店		4,402
普通預金 みずほ銀行高松支店		1,700,333
普通預金 ゆうちょ銀行六三八支店		175,934
売掛金 観光名刺	販売目的の物品等の未収入金	33,980
未収金 香川県ほか	未収補助金ほか	3,779,815
棚卸資産 観光名刺（台紙）	高松市の観光地の宣伝のため販売している	162,200
棚卸資産 コングレスバック		1,108,517
立替金	育児休業職員の社会保険料減免分の立替	127,600
流動資産合計		24,622,871
2 固定資産		
（１）基本財産		
普通預金 百十四銀行高松市役所支店	公益目的保有財産であり、運用益を	50,030,000
普通預金 みずほ銀行高松支店（ＵＳＤ）	公益目的事業の財源として使用している	16
定期預金 みずほ銀行高松支店（ＵＳＤ）		2,461,435
定期預金 百十四銀行高松市役所支店		10,000,000
定期預金 香川銀行本店		10,000,000
定期預金 高松信用金庫本店営業部		10,000,000
定期預金 香川県信用組合本店営業部		10,000,000
定期預金 四国労働金庫本店営業部		5,451,335
投資有価証券 平成25年第7回北海道公募公債		49,994,180
投資有価証券 第31回1号宮城県公募公債		50,041,639
投資有価証券 第406回大阪府公募公債		49,962,819
投資有価証券 米国財務省中期証券		122,989,507
投資有価証券 （株）国際協力銀行政府保証外債		118,041,576
投資有価証券 第392回大阪府公募公債		49,974,274
投資有価証券 第432回大阪府公債		49,928,974
基本財産合計		588,875,755
（２）特定資産		
退職給付引当資産		
定期預金 香川県農業協同組合本店	退職金の支払いに備えた引当資産	10,000,000
定期預金 大和ネクスト銀行ビシャモン支店		6,198,089
供託金		
第三種旅行業 高松法務局	旅行業法に基づく営業保証金	3,000,000
特定資産合計		19,198,089

(単位：円)

科目等		使用目的等	金額
(3) その他固定資産			
建物	事務所間仕切（軽量鉄骨壁）	公益目的保有財産であり、公益目的事業、法人管理業務で使用している	389,481
建物附属設備	電気設備等		80,998
建物附属設備	事務所簡易間仕切		1
器具備品	給与ソフト（給与大臣NX Super）		185,310
器具備品	事務所遮光用ブラインド（金属製）		71,928
器具備品	全国大会等情報データベース一式		513,335
器具備品	旅行業予約管理システム		1,059,300
器具備品	手ぶら観光受付カウンター		572,041
器具備品	ワイヤレスガイドシステム		297,237
器具備品	事務局LAN配線等設備一式		168,795
器具備品	高松盆栽PRビデオ		1
器具備品	高松MICE観光プロモーション映像		2,684,000
器具備品	サンボくん着ぐるみ		162,000
電話加入権	事務所 2回線		145,600
その他固定資産合計			6,330,027
固定資産合計			614,403,871
資産合計			639,026,742
II 負債の部			
1 流動負債			
買掛金	観光名刺代金	販売目的の物品等の業者支払未払分	92,400
未払金	高松市ほか	高松市補助金返納分ほか	21,624,442
未払費用	NTT西日本ほか	販売目的以外の継続する役務の提供等の未払分	167,105
前受金		令和5年度分観光名刺販売代金	159,000
預り金	社会保険料本人負担分ほか		760,970
賞与引当金	当年度分	規程に基づく職員賞与の当期負担分	2,241,143
未払消費税	観光案内所運営受託事業	受託事業収益に含まれる消費税等	548,237
流動負債合計			25,593,297
2 固定負債			
	退職給付引当金	退職金の支払いに備えた引当金	16,198,089
固定負債合計			16,198,089
負債合計			41,791,386
正味財産			597,235,356

監 査 報 告 書

令和5年5月16日

公益財団法人高松観光コンベンション・ビューロー
理事長 佐 野 正 殿

公益財団法人高松観光コンベンション・ビューロー

監 事 有 木 浩 ㊟

監 事 勝 丸 千 晶 ㊟

私たちは、令和4年4月1日から令和5年3月31日までの令和4年度における会計及び業務の監査を行いましたので、次のとおり報告いたします。

1 監査の方法の概要

- (1) 会計監査について、帳簿並びに関係書類の閲覧など必要と思われる監査手続きを用いて計算書類及び収支計算書の正確性を検討いたしました。
- (2) 事業報告については、理事会及びその他の会議に出席し、担当理事から業務の報告を聴取し、関係書類の閲覧など必要と思われる監査手続きを用いて業務執行の妥当性を検討いたしました。

2 監査意見

- (1) 貸借対照表、正味財産増減計算書それらの附属明細書及び財産目録、並びに収支計算書は、会計帳簿の記載金額と一致し、当法人の財務状況並びに収支の状況を正しく示しているものと認めます。
- (2) 事業報告書及び附属明細書の内容は真実であり、法令若しくは定款の規定に違反するが如き事実はないことを認めます。